

平成28年度 統計グラフ佐賀県コンクール 入賞作品紹介



佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立つため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に231点の応募があり、特選6点、入選20点、佳作50点、また特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞が1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された佐賀大学教育学部附属小学校、伊万里市立伊万里中学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞した作品の中から優秀な作品18点を全国コンクールに出品したところ、2点が入選に3点が佳作に入賞しました。

平成28年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況

部 門	応募作品数	応募者数
第1部 (小学校1～2年生)	23	23
第2部 (小学校3～4年生)	70	85
第3部 (小学校5～6年生)	94	131
第4部 (中学生)	17	43
第5部 (高校生～一般)	3	6
パソコン統計グラフの部	24	33
合 計	231	321

※規格外作品含む

★統計グラフコンクールについて、詳しくはこちら★

さが統計情報館

検索

【主催・後援】

主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、サガテレビ

【審査員】

富永 千晶 氏 (多久市立中央小学校 指導教諭他 9名)



総評

「発達段階に応じたテーマ(内容)や表現方法であるか」「グラフが正しく効果的に表現されているか」「規格に合っているか」などをポイントに審査をしました。

例年より多くの作品が集まり、内容についてもたいへん見応えがありました。特に小学1～4年生が対象となる第1、2部の作品は、身近な生活や教科の学びをもとにテーマ設定したものが多く、作成者の思いが感じられ、一人一人の顔が思い浮かぶようでした。

小学5、6年生対象の第3部や中学生対象の第4部では、熊本地震や18歳選挙権など社会の動向を鋭くとらえた作品もあり、社会性の高さに感心しました。

このように、量と質が充実してきたのは、昨年度からスタートした「統計グラフワークショップ」の成果だと思われまます。今後の啓発活動にも期待しています。

【表彰式】

平成28年11月18日(金曜日)

佐賀県立美術館ホール

【入賞作品展示会】

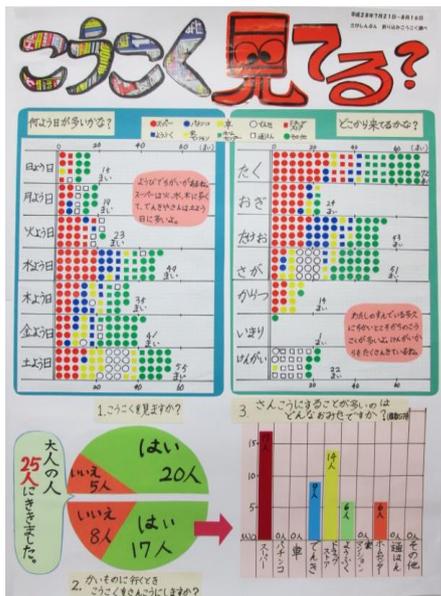
平成28年11月15日(火曜日)～18日(金曜日)

佐賀県立美術館 画廊



★第1部(小学校1～2年生の児童)

講評



〈こうこく 見てる?〉

多久市立中央小学校 2年 中尾 文香

毎日、新聞と共に配達される折込チラシの広告。曜日ごとにどんな種類が届いているのか、多久市にほどのエリアから広告が入ってくるのか、カラフルなシールでグラフ化しています。さらに、その広告がどのように活用されているのか、興味を広げて調査した結果を円グラフや棒グラフに分かりやすく表しています。見出しをチラシの貼り絵で表現したところも目を引きまます。すばらしいアイデアですね。

受賞者の声

はじめて特せんにえらばれて、うれしいです。毎日、たくさんのこうこくが、しんぶんに入っているのを見て、何のこうこくが多いのか、お店のぼ所はどこなのか、しらべたらおもしろそうと思ったからこのテーマをえらびました。しらべてみてわたしのすんでいる多久に近いばしょからたくさんさんのこうこくができていいることや、よう日によって、こうこくのまいすうがちがっていることがわかりました。グラフを作るとき、小さいシールを1つずつ貼っていくのが大へんでした。でもかんせいしたらがんばってよかったなと思いました。来年もがんばります。

【佳作】【サガテレビ賞】

講評



〈めっちゃ♡大すき カレーライス〉

神崎市立西郷小学校 2年 馬場 心月

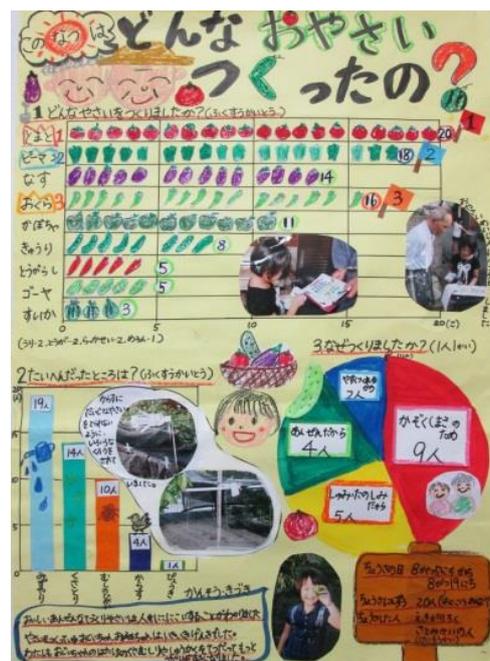
今回、統計グラフ作品をたくさん見せて頂きましたが、審査の中で一番目立っていたように感じます。色合いがカラフルで、また鍋やコップにグラフを載せるなどの表現はユニークで、ポスターとして見ても楽しい作品でした。お友達から調べた数字を、米粒や水滴で表現したのも小学生らしい微笑ましい作品と感じました。野菜の種類が多いのは、様々なカレーが想像でき、さすが家庭料理で不動の地位をしめるカレーライスですね。佐賀県がカレーの消費量が日本一になったというのも、馬場さんこの調査を見ると納得かもしれませんね。

受賞者の声

インターネットでサガテレビ賞に選ばれたことを知ってびっくりしました。とてもうれしかったです。このテーマをえらんだのは、カレーのルーをさがけんの人が1ばんつかっていることをしったから、カレーライスについてしらべてグラフをつくりました。けっかをみてみんなカレーライスがすきだということがよくわかりました。顔を作るとき、小さいところをのりではったり、かいたりするのがたいへんでした。お母さんやお父さんを入れるのがたのしかったです。



〈今年の夏は わたしはさが県産どのくらい食べたかな?〉 有田町立有田中部小学校 1年 岩永 一香
 〈みんなのすき さがしらべたよ!!〉 佐賀大学教育学部附属小学校 2年 高場 美帆



〈どんなくるま なにいろのくるまがおおいか?〉 神崎市立千代田東部小学校 1年 神代 大惺
 〈このなつは どんなおやさいつくったの?〉 神崎市立神崎小学校 1年 石井 杏

★第2部(小学校3～4年生の児童)

【特選】



佐賀初！見えない世界いさん
三重津海軍所跡へ来てみんしゃ〜い！！>
佐賀大学教育学部附属小学校 3年 松本 良啓

講評

「佐賀初！見えない世界いさん」というキャッチコピーがユニークです。

100人から集めたアンケートは、年齢や性別のバランスがとれています。その結果を内容ごとに適切なグラフで表現しています。

調査した動機や考察が添えられているので、良啓さん自身が三重津海軍所跡へ何度も足を運び、その魅力を多くの人に伝えたいと願っていることが伝わりました。

受賞者の声

今年のグラフのせい作は、とても大変だったので、特選になれてとてもうれしいです。

2015年に世界いさんになって、ぼくは三重津海軍所跡を初めて知りました。遊びに行ってみたらとてもおもしろかったです。まだ来ていない人に来てほしいし、来た人が何が楽しかったかを知りたかったから調査してみました。調べてみて、県外からもたくさんの方が来ていることが分かりおどろきました。その中には福島から来ている人や、関東でテレビCMを見て来ている人もいて、とてもおどろきました。

製作にあたっては、聞きたい事が多くて8個もしつ問したので、100人分のアンケート集計をするのが大変でした。14回もかくにんしたのでとてもつかれました。グラフは見てわかりやすいように、しつ問にあった絵にしてみました。

【入選】

私たちの住む 三瀬村！>
佐賀市立三瀬小学校 4年 和奏 行武 采音



知ってますか？ 食材の産地！>
鳥栖市立弥生が丘小学校 3年 江本 龍大



佐賀の漁船海難事故を調査せよ！>
佐賀大学教育学部附属小学校 3年 徳田 修一朗

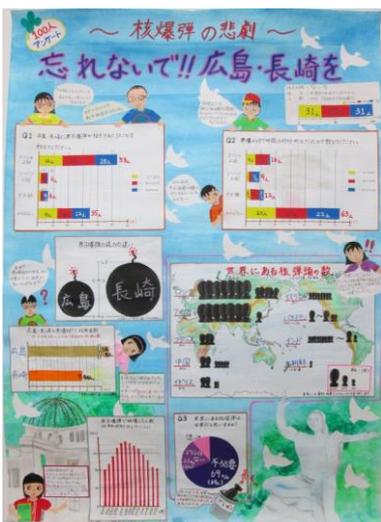


習い事 がんばってます！>
多久市立中央小学校 4年 中尾 円香



★第3部(小学校5～6年生の児童)

【特選】



〈忘れないう!! 広島・長崎を〉
 神崎市立千代田東部小学校 6年
 武富 みゆ

講評

今年は、アメリカのオバマ大統領が被爆地広島を訪れたことで、世界的に改めて核兵器の是非が問われました。アンケート結果を年代別に色分けして積み上げ棒グラフにしたり、原子爆弾の威力を面積グラフにしたり、伝えたいことを分かりやすく表現しています。やわらかい色調でまとめた背景とは対照的にふきだしに書かれたコメントには、力強いみゆさんのメッセージが込められています。

受賞者の声

5年間統計グラフコンクールに作品を出し続けて、やっと特選がとれたのでとてもうれしいです。出し続けてよかったです。今、6年生で戦争の勉強をするので興味を持ちこのテーマを選びました。修学旅行で長崎へ行くのもっと知りたいです。調べてみてたくさんの人が、原爆投下日を忘れていたことにおどろきました。なのでしっかり覚えておきたいです。グラフの作成にあたりどうしたら、みなさんに分かりやすく伝えられるかを考えることが大変でした。今まで出した中で1番完成度は高かったと思います。

【入選】【佐賀新聞社賞】



〈佐賀の七賢人総選挙! センターは誰だ〉
 佐賀大学教育学部附属小学校 5年
 伊藤 智成 川崎 雄斗 尾木 志帆

講評

佐賀の七賢人の知名度と人気を調べるため、AKBのセンターを選ぶ人気投票「総選挙」になぞらえたセンスと遊び心を買いました。審査のために見て回っていて、この作品の前で足が止まり思わず笑顔になりました。テーマも佐賀らしくていいですね。絵も7人の特徴を捉えていてうまいし、色づかい、グラフと表のレイアウトもすっきりしていて見やすいところも高評価です。大隈重信がセンターなのは予想通りですが、島義勇や江藤新平たちを結構知っていたのには驚きました。郷土の偉人・賢人をよく勉強しているのですね。

受賞者の声

初挑戦の統計グラフなのに受賞できて嬉しいし驚いています。来年から歴史の学習が始まることもあり、また、佐賀を皆さんに知ってほしかったからこのテーマを選びました。調べてみてわかったこととして、七賢人の中で有名なのは、大隈重信であり予想通り多かったこと、七賢人全員を知っている人が何人かいたことなどがわかりました。工夫したところは、統計グラフは、データが大切なので、グラフを見やすくすることを心がけました。

伊藤 智成

三人で協力してがんばったことが実って良かったです。

このテーマを選んだのは、僕達、佐賀県民が佐賀の偉人をどれだけ知っているか調べたかったからです。その結果、七賢人自体は、あまり知られていませんでした。

製作にあたっては、グラフで差を分かりやすくするために色分けなどの工夫をしました。

川崎 雄斗

3人で力を合わせてよかったです。

5年生らしさがほしかったからこのテーマを選びました。調べてみて自分でも知らないことがあっておどろきました。

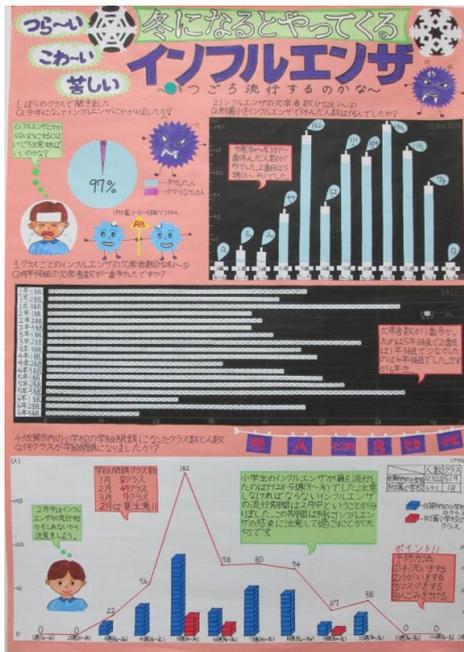
工夫したところは、3人で役割を分担したことです。

尾木 志帆



〈備えあればうれいなし
～日本一安全な街に住む佐賀県民の災害対策～〉

佐賀市立神野小学校 6年 野中 美遥



〈つら～い こわ～い 苦しい
冬になるとやってくるインフルエンザ
～いつごろ流行するのかな～〉

佐賀大学教育学部附属小学校 5年 吉島 輝



〈どう思っている? 高齢者自動車運転〉

佐賀市立日新小学校 6年 森 球道



〈ベルマークって知ってる??〉

佐賀大学教育学部附属小学校 5年 加藤 寛陽

★第5部(高校生～一般)

【特選】

井手 良治
井手 治助
井上 信宏



講評

佐賀市八戸地区の歴史を考える会が5年かけて制作した「八戸ものがたり」の認知度やその活用法を調査した作品です。会長の井上さんをはじめとするみなさんの情熱が伝わります。鮮やかな色の組み合わせやイラストの配置が巧みです。

考察に記されているように、今後講演会や勉強会を通して、八戸の魅力が詰まったこの冊子が多くの人に読まれることを期待します。

受賞者の声

県特選受賞の知らせを聞いたとき、ありふれたテーマであり期待していなかったのが驚きました。冊子の活用方法のアイデアが欲しかったのでこのテーマを選びました。情報収集にあたり前向きで、建設的なアイデアが出され期待通りでした。そのことを今後に生かしていきたいと思いました。また、多くの人が「八戸ものがたり」を読んでくれお礼の手紙やメールが沢山来たことに感動しました。このアンケート結果に基づき「まち歩き」3回、45人参加。「講演会」5回、119人参加。「マスクミ対応」を3回実施しました。

製作にあたっては冊子の読者の反応をどう表現して統計化していくかに苦労しました。

井手 良治

受賞者の声

68年の人生において初の特選に選ばれて大きな驚きと大変うれしい気持ちです。平均年齢77歳のメンバーだけで考えた活用方法では、物足りなく八戸町住人も幅広い意見が必要だと考えました。

- ・「この冊子への町民の関心度が思っていた以上に高かった」
- ・「家族・ご近所さんとの対話が多くなった」
- ・「校区の小学校との連携(校外授業等々に使用可能)ができる」等、いろいろな発見がありました。

グラフ製作の私の担当は、アンケートの設問を集計するのが主でしたので苦労とは別に思いませんでした。アンケートの設問を考えたり、グラフをみやすくしたりインパクトをあたえるようなレイアウト作り等が難しかったかと思います。

井手 治助

受賞者の声

統計グラフ製作は初挑戦でしたので、本当に驚いています。ありがとうございます。このテーマを選んだのは、八戸地区の歴史や文化を伝える冊子「八戸ものがたり」の表紙絵等に関わり、この冊子を今後どのように活用していけば、八戸地区や佐賀市のPRにつながるか関心を持ったからです。

井手良治会長(八戸地区の歴史を考える会)を中心にアンケートを実施され、地区の方々や学校、公民館関係の方々の関心の大きさを感じました。

製作時には、「冊子の活用方法について」等、地区の歴史や材料等を示す材料等(えびすさん、遺跡出土器等)を楽しくグラフに配置でき、冊子の内容をイメージできるものとなりました。

井上 信宏

★パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)

【県特選】



講評

家庭での学習時間に目を向けたユニークな調査です。

パソコンを活用して学習時間の推移をグラフで表現し、その結果をもとに自分自身の効率的な学習スタイルを模索しています。

机の片付をするよりもリビングに場所を移したほうが長時間学習に取り組めるという結果がおもしろいところです。

作品全体の配色がシンプルで大変見やすくまとめられています。

受賞者の声

まさか選ばれるなんて思っていなかったので、とても嬉しいです。

最近、学習時間が伸びないことに気づき、どうしたら伸びるのかを考えたので、このテーマにしました。学習時間を伸ばすためには、学習する場所を変えると効率よく学習することが分かりました。

画用紙の色やグラフの大きさを考えて、人に見やすくなるようにすることがちょっと苦労しました。

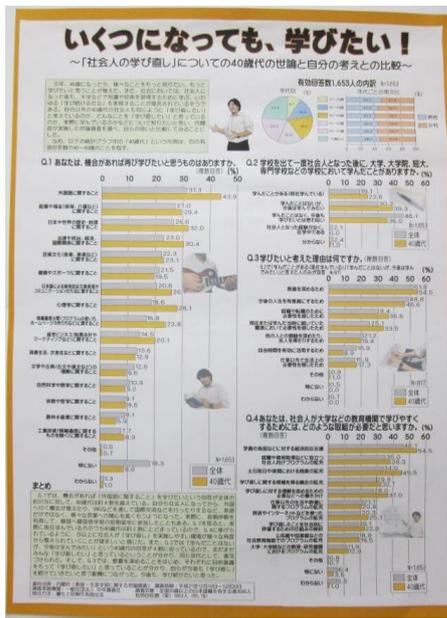
〈学習時間を伸ばすために・・・〉

佐賀市立大和中学校 2年 江口 湧樹

【全国入選】 【県入選】

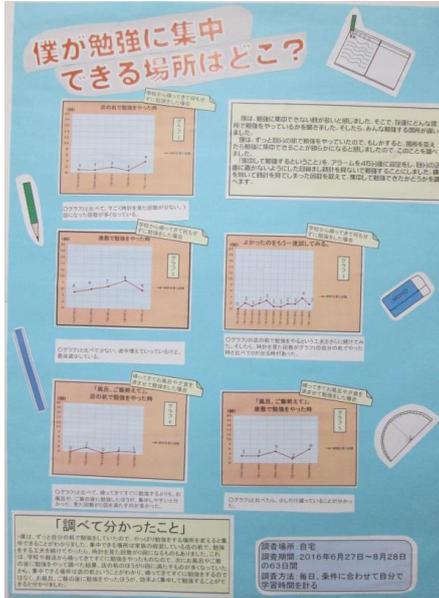
「社会人の学び直し」についての
40歳代の世論と自分の考えとの比較

一般 中村 純一



【全国佳作】 【県入選】

「僕が勉強に集中できる場所はどこ?」



【全国佳作】 【県入選】

「いつ来るかわからない! 地震について考えよう!」



【県入選】

「睡眠時間を平均に戻すには?」

佐賀市立大和中学校2年 市丸 奨真

